

令和3年6月30日

「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト  
「つながるひろがる にほんごでの暮らし」（通称：つなひろ）

## 新たな機能を追加しました

文化庁は、「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業の一環として、外国人が生活場面に応じた日本語を学習できるICTを活用した教材を開発・提供しています。今回、その教材に新たな機能（「自己評価チェック機能」等）を追加することによって、より効果的な日本語学習が可能となりました。

### 1. 趣旨

我が国の在留外国人は、約289万人（令和2年12月末）となっており、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、増加傾向にあり、日本語教育に対するニーズが高まっていますが、地域によっては「生活者としての外国人」対象の日本語教室がない市区町村（以下「空白地域」という。）が多数あります。そのため、空白地域に住む外国人等を対象として、生活に必要な日本語の学習機会を提供することを目的とし、日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでの暮らし」（通称：つなひろ）の開発・提供を行っています。

今回は、新たな機能として、**自己評価チェック「自分に合ったレベルを探そう」**と読み書きについての関心を高める**動画コンテンツ「生活の中の読み書き」**を追加しました。



本サイト URL <https://tsunagaru.jp.bunka.go.jp/>

## 2. 概要

### ○自己評価チェック「自分に合ったレベルを探そう」

本サイトでは、生活の場面に着目した動画中心の学習コンテンツを用意しています。それらの学習コンテンツは、外国人の日本語能力に合わせて三つのレベルに分けられています。この機能を活用することによって、日本語の学習者が「自分が生活の中で日本語を使ってどのくらいのことを達成できるのか」を把握することができるようになり、自分に合ったレベルの学習コンテンツを選ぶことで、より効果的な学習が可能になります。

#### ■「自分に合ったレベルを探そう」導入ページ



#### ■「自分に合ったレベルを探そう」チェックページ



## ■「自分に合ったレベルを探そう」結果表示ページ

このサイトについて **NEW** 自分に合ったレベルを探そう 広報ツール・リンクについて

キーワードで調べる

レベル1 レベル2 レベル3

**結果**

レベル1で勉強してみましょう。

まずは、よくある生活の場面で必要となる、日本語での日常的な表現や基本的な言い回しを学習してみましょう。

Q1 初対面のあいさつができる。  
解答：○ できる

Q2 店で商品の場所を聞くことができる。  
解答：× あまりできない 学習ページ：[1.2身近なものを買ってみよう](#)

結果の表示

「できない / あまりできない」と回答した問いについて、該当動画コンテンツへ誘導

## ○動画コンテンツ「生活の中の読み書き」

本サイトでは、従来、生活の中での会話を重視しており、「聞く」「話す」を中心とした学習コンテンツが多く収録されています。そこで、今回、「読む」「書く」の学習にもつなげられるよう、動画コンテンツ「生活の中の読み書き」も新たに追加しました。これは、日々の生活の中で読み書きが必要なシーン（手紙の書き方等）を紹介し、日本語の読み書きに対する関心を高め、学習を促すものです。これにより、「読む」「書く」能力の習得へ向け、その導入になるコンテンツが加わり、学習者へのサポート領域がさらに広がりました。

## ■「生活の中の読み書き」導入ページ



## ■「生活の中の読み書き」シーン紹介場面



### 3. 参考

#### 日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」とは

##### ●内容（サイトの特徴）

我が国で生活する外国人が円滑な生活を送るために、買い物や役所等の生活の場面に特化した日本語学習ができるように作られた自学自習のための学習用サイトです。動画を中心とした構成となっており、実際の生活でどのような日本語が使われるのか、動画を見ることを通じて学ぶことができ、同時に生活に関係する知識についても知ることができます。また、レベルが三つに分けられ、学びたい場面や自分の日本語能力に合ったレベルを選択できるようになっています。

また、地域の日本語教室等での学習教材としても活用可能です。

本サイト URL <https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

●対象 国内に在住する外国人等

●公開開始日 令和2年6月1日

●提供言語 10言語（英語、中国語（簡体字）、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、フィリピン語、ネパール語、クメール（カンボジア）語、日本語）  
※令和3年度中にさらに4言語（タイ語、ミャンマー語、モンゴル語、韓国語）を追加予定。

##### ●その他の特徴

- ・無料提供・登録不要。パソコンの他、スマートフォン表示にも対応。
- ・外国人や日本語の指導者が本サイトを活用しやすいように「使い方ガイドブック」や、広報ツールとしてパンフレットや宣伝用動画も併せて公開。

本サイトの広報ツール URL <https://tsunagarujp.bunka.go.jp/about-link>

##### ●利用者の声（例）

- ・このサイトには日常生活でよく出会うシーンにおける会話がたくさんあり、状況に応じた会話を学ぶことができるので便利である。
- ・動画には、日本語と外国語、ローマ字の字幕があるため分かりやすく、それらを選択できるので自分の能力に合わせて学習ができる。
- ・動画を通じて日本語を聞くことができ、「聞く」能力を向上させることができる。
- ・言葉だけでなく、日本での生活で遭遇する多くのシチュエーションやその状況での対処法を学ぶことができ、文化・習慣等の理解にもつながる。

## ■「見て学ぶ生活の場面」の選択ページ

### 見て学ぶ生活の場面

学習したいシチュエーションや、日本語の習得レベルに応じてコンテンツを選んで学習できます。



人とかかわる

あいさつをしよう >



人とかかわる

場面に応じたあいさつをしよう >



やりとりをする

宅配便を利用しよう >



やりとりをする

ハガキを送ってみよう >



やりとりをする

インターネットや電話を利用しよう >



サービスを利用する

身近なものを買ってみよう >



サービスを利用する

お店のサービスを利用してみよう >



サービスを利用する

レストランへ行ってみよう >



サービスを利用する

売り場や値段をきいてみよう >

## ■生活場面の動画（病院に行こう）

### 病院に行こう

病院やクリニックを利用するときに使う日本語を学びましょう。  
受付での必要な手続きや医師の診察、薬の処方を受けたりすることができるようになります。

#### この場面で学べるキーワード

病気 けが 病院 クリニック 初診  
保険証 診察券 問診票 かぜ 処方箋

### 8-1. かぜをひいたみたいです。

受付で初診であることを伝えて、必要な薬がもらえる  
問診票に書いてあることを理解して、分からないことを聞きながら記入することができる



日本語  Roma-ji

※本サイトは、文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業の一環として、凸版印刷株式会社に委託して開発・運営するものです。

<担当> 文化庁国語課地域日本語教育推進室

室長補佐                      津田  
日本語教育推進係          坪田  
専門職                              北村

電話 : 03-5253-4111 (内線 4845、4895)  
FAX : 03-6734-3818  
E-Mail : [chiikinihongo@mext.go.jp](mailto:chiikinihongo@mext.go.jp)